





第 19 回 全国まちづくり会議 2024 in ナゴヤ 2024年 10月 12日 (土) ~13日 (日) 出展プログラム募集

「第 19 回 全国まちづくり会議 2024 in ナゴヤ」のプログラムの出展者を募集します。まちづくり関係者の知見交流の場として、例年、500~1000 人の方が来場します。これまでの出展内容は、住民提案のまちづくり、景観、防災、復興、交通、緑、農、IT 他、テーマは多岐にわたっています。ぜひご応募ください。

■全国まちづくり会議の概要

全国まちづくり会議は、地域で取り組まれているまちづくり活動の支援を目的に、全国から都市計画やまちづくりのプランナー、研究者、NPO団体・民間企業、学生等が幅広く参加、交流するイベントです。開催概要は以下の通りです。

イベント名称 第 19 回 全国まちづくり会議 2024 in ナゴヤ

主催者 認定 NPO 法人日本都市計画家協会 全国まちづくり会議 2024in ナゴヤ実行委員会

実行委員長 秀島栄三(名古屋工業大学教授)、副実行委員長 恒川和久(名古屋大学教授)

開催日 2024年10月12日(土)、13日(日) ※14日(祝)は別途エクスカーション等を予定

会場なごのキャンパス、円頓寺商店街等(名古屋市西区)

メインテーマ 「ナゴヤのまちづくりの行方」

プログラム概要 オープニングセッション(テーマ:ナゴヤのまちづくりの行方)

学生まちづくりコンペ (テーマ:ナゴヤの大学とまちづくりの連携)

3 枠×4 会場のセッション(公募型:トークセッション、ワークショップ、事例発表会など企画は自由です)

入場料 無料

■応募要領

- ①出展日時•会場
 - ・開催2日目の2024年10月13日(日)午前1枠/午後2枠×4会場(資料-1参照)のセッションを募集します。
 - ・会場と枠の設定は、応募時のご希望を踏まえた上でテーマや参加予定人数を考慮して事務局にて決定し後日連絡します。
- ②募集対象団体
 - ・幅広い分野で都市や地域に根ざしてまちづくり活動を実践している住民や団体、企業等
- ③募集内容
 - ・企画するセッションのタイトル、希望時間・会場、セッションの形式、セッションのテーマ・概要等(別紙応募用紙参照) ※参考(セッションテーマ例):景観・都市デザイン、防災/防犯、交通、ウォーカブル、公園・緑化、農業まちづくり、まちづくり情報化/DX、まちづくりスタートアップ、水辺再生、空き家対策・リノベーション、エリアマネジメントなど
- ④出展料
 - •無料
- ⑤申込方法/申込締切日時
 - ・別紙応募用紙を下記まで、E-Mail 又は FAX でご提出下さい(締切日時: 2024年7月31日(水) 17時)
- ⑥申込/お問い合わせ先
 - ·認定 NPO 法人日本都市計画家協会 事務局(担当:淺見・増井 TEL:03-6811-7205)
 - •E-Mail jimukyoku@jsurp.jp
 - •FAX 03-6811-7206

第19回 全国まちづくり会議 2024in ナゴヤ プログラム募集会場一覧

募集会場名	規模	最大収容※	場所	会場設備等	
① なごのキャンパス ホームルーム	約 89 ㎡	80名	なごのキャンパス 名古屋市西区那古野 2-14-1	フリーWi-Fi、50V型 Display、 プロジェクター、音響機器等(予)	
② ワイナリー	約 50 ㎡	40名	Wine&eatsCOMMONE 3 階 名古屋市西区那古野 1-2-12	音響機器、プロジェクター(予) 椅子(予)、テーブル(予)	
③ 伊藤家 新座敷	約 35 ㎡ (和室)	30名	愛知県指定有形文化財 伊藤家住宅	プロジェクター(予)	
④ 伊藤家 奥座敷	約 25 ㎡ (和室)	20名	名古屋市西区那古野1-36-12	プロジェクター(予)	

[※]最大収容規模は、会場レイアウト等にて変更の可能性があります。

■会場位置図



第 19 回 全国まちづくり会議 2024in ナゴヤ プログラム募集枠一覧

		なごのキャンパス		⊚п/ ±П	③伊藤家	④伊藤家
		体育館	①ホームルーム	②ワイナリー	新屋敷	奥座敷
1日目 10/12	13:00~15:00	_	オープニング	_	_	_
(土)	15:30~17:30	_	別途企画中	_	_	_
2日目 10/13	10:00~12:00	_	募集枠	募集枠	募集枠	募集枠
(日)	13:00~15:00	学生コンペ	募集枠	募集枠	募集枠	募集枠
	15:30~17:30	学生コンペ	募集枠	募集枠	募集枠	募集枠

※3日目10/14(祝)は別途エクスカーションを募集します(別紙参照)

第19回 全国まちづくり会議 2024in ナゴヤ 番組企画書(応募用紙)

セッション枠 NO.	記入不要	作成日時 月	日		
セッションタイトル					
(30 文字以内)					
応募者名					
団体/企業名等					
連絡担当者氏名	氏名	メール			
建 和236以4	所属	電話番号			
	希望時間	希	望会場		
希望時間·会場※1	第1希望 1,2,3 第2希望 1,2,3	第1希望 イ、ロ、 第2希望 イ、ロ、			
(番号、記号に〇)	(選択肢) 2024年10月13日(日) 1 午前 (10:00~12:00) 2 午後① (13:00~15:00) 3 午後② (15:30~17:30)	(選択肢) イ なごのキャンパス : ロ ワーナリー② ハ 伊藤家③ 二 伊藤家④	ホームルーム①		
セッションの形式	□ トークセッション/パネルディスカッション型 □ 講演会/発表会型 □ ワークショップ型	想定参加人数※3	人		
(□にチェック)	□ その他 ()				
オンライン配信予定 ※2 (□にチェック)	□ 予定あり (ZOOM 等利用予定ツール□ 予定無し	· ;)		
セッション概要					
(50 字以内)					
セッション詳細					
(200 字以内)					
(可能な範囲で現時 点で検討中の内容を 記載願います)					
その他確認したい点 や御要望など					

- ※1 希望時間、会場は、調整のうえ決定します。希望に添えない場合はご容赦ください
- ※2 オンライン配信は主催者側では行いません。実施される場合は応募者側で機材確保や配信環境の確認等を御願いします
- ※3 想定参加人数は、出演者、聴衆を含めた想定人数を記入してください

その他

- ・各会場の設備/機材等については資料 1 に記した通りですが、詳細は応募団体等に対して後日実行委員会からご連絡します
- ・各セッションの運営に必要な費用(出演者への謝金、交通費、必要な持ち込み設備に関する費用など)は各応募団体にて ご負担頂くよう御願い申し上げます
- ・実行委員会は応募頂いた全セッションを含めた本イベント全体の広報活動を行います

「全国まちづくり会議」について

過去5か年の概要

<開催趣旨>

まちづくり会議(全まち)は、全国各地で活動する草の根まちづくり団体や、まちづくりの専門家、プランナー、企業、行政、研究者などが年に 1 回集まる交流イベント。2005 年に初開催し、2024 年で 19 回目。まちづくり団体等のパネル提示や、テーマ別セッション、まち歩きなど、2 日間にわたり多くの企画が同時進行で行われる。

<過去5年間の開催実積>

(第 14 回)「全国まちづくり会議 2018 in 福岡」

主催:認定特定非営利活動法人 日本都市計画家協会

後援:国土交通省九州地方整備局、福岡県、福岡市、西日本新聞

日時: 2018年9月8日、9日、10日(エクスカーション)

場所:九州大学箱崎キャンパス

参加団体:30 団体・企業 協賛企業:22 社 参加者:約500人

(第 15 回) 「全国まちづくり会議 2019 in 東京」

主催:認定特定非営利活動法人 日本都市計画家協会

後援:江東区、芝浦工業大学、NPO 法人粋なまちづくり倶楽部

日時:2019年9月7日、8日 場所:株式会社竹中工務店東京本店

参加団体:29 団体・企業 協賛企業:7 社 参加者:約600 人

(第 16 回) 「全国まちづくり会議 2020-2021」 (1 年間のオンライン配信による連続セッション)

主催:認定特定非営利活動法人 日本都市計画家協会

Phase 1 石巻分科会

日時: 2020 年 12 月 13 日(日) 場所: IRORI 石巻

Phase 1 大槌分科会

日時:2021年1月30日(土)

Phase 1 気仙沼分科会

日時: 2021 年 2 月 27 日(土) 場所: 参加者: ウェビナー300 名(Phase 1 全体)

Phase 2 熊本分科会

日時:2021年5月25日(火) 場所:熊本 清永本店、球磨村 淵田酒造

Phase 2 厚真分科会

日時:2021 年 7 月 24 日(土) 場所:厚真町社会福祉協議会 参加者:ウェビナー100 名

Phase 2 真備分科会

日時:2021 年 8 月 28 日(土) 場所:真備町ぶどうの家ブランチ 参加者:ウェビナー150 名

Phase 2 糸魚川分科会

日時:2021年9月18日(土) 場所:糸魚川市駅北広場キターレ 参加者:ウェビナー100名

Phase 3 「全国まちづくり会議 2020-2021 in 大船渡」

日時: 2021年11月27日(土) 場所: 大船渡市 キャッセン大船渡エリア 参加者: ウェビナー200名

(第17回)「全国まちづくり会議2022 in 東京・すみだ」まちづくりの原点を探る

主催:認定特定非営利活動法人 日本都市計画家協会 後援:墨田区、千葉大学、UDC すみだ、NPO 法人向島学会

協力:一般社団法人アーバニスト 日時: 2022年10月8日、9日

場所: (メイン) 千葉大学墨田サテライトキャンパス、(サブ) 京島地区 電気湯

寄付·協賛企業·団体:13社 参加者:500人

(第 18 回)「全国まちづくり会議 2023 in 東京・ちよだ」 これからのまちづくりの担い手

主催:認定特定非営利活動法人 日本都市計画家協会

後援:千代田区、NPO法人神田学会、神田古書店連盟、東京文化資源会議、本の街・神保町を元気にする会

特別協力::明治大学、一般社団法人アーバニスト

日時: 2023年10月7日、8日

場所:明治大学駿河台キャンパスリバティータワー

寄付・協賛企業・団体:17社 参加者:延べ1,000人

認定特定非営利活動法人日本都市計画家協会(JSURP)について

<設立趣旨>

都市・地域づくりの専門家だけでなく、まちづくりに興味のある人、まち歩きの好きな人など多様な人が参加してまちづくりで社会 貢献する。

※定款記載の目的

本協会は、都市・地域づくりに関心と参加の意思を有するさまざまな分野、立場の者が協力し、 広汎かつ多角的な視点にたって、都市・地域づくりに関する調査・研究、各方面に対する啓発・ 提言・支援、多様な人材育成等の事業を行うことにより、 豊かで魅力的な都市・地域空間と文化 の創造に貢献し、もって公益の増進に寄与することを目的とする。

<設立経緯>

社会・経済が激変していた 1993 年にパッションを持つ有志によって任意団体として設立。2001 年 8 月に全国の「草の根まちづくり」を支援する特定非営利活動法人(NPO)になった。2020 年 2 月認定 NPO。「まちづくりの力で社会問題を解決する」ことをミッションとしている。

<主な年間活動>

より多くの人が自分たちのまちに関心を持ち、地域課題を解決できるようになることを JSURP のビジョンとしている、そのうえで、まちづくりの力で社会問題を解決するというミッションを掲げ、以下の5つのテーマを設けて年間を通して活動を行っている。

1. まちづくり支援

・全国の草の根まちづくり(地域主体のまちづくり)を推進

2. フォーラム

・まちづくりに関わる人たちの情報交換、つながる場を提供

3. 地域活動

・支部活動の活発化や地方会員の満足度を向上することを目指した取り組み

4. プランナー育成

・次世代のまちづくり活動を担う若手プランナーの育成、専門家としての更なるスキルアップを目的として、関連団体との連携により、様々な取り組みを実施。

5. 企業連携

・JSURP の会員の多くは研究、実践の場として特定の地域の都市計画やまちづくりに関与している。分野としては、環境、エネルギー、基盤整備、都市開発、観光振興、福祉、教育、市民活動支援など。

<本部所在地>

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目28番地5 axle御茶J水306号室

<役員(2024年度)>

会長 山本 俊哉

副会長 坂井 猛、高鍋 剛、江田 隆三、原 拓也、木村静

常務理事 牧 敦司、千葉 葉子

事務局長 淺見 真人